

令和8年8月21日 市長会見資料

発表事項	『延岡市史 史資料編 近世1』の刊行について
概 要	この度、延岡市史編さん事業の初巻となる『延岡市史 史資料編 近世1』を刊行いたします。 【事業の経緯と今後の方針】 延岡市では、令和14年度（2032）に市政施行100周年を迎えることを契機として、令和2年度から市史編さん事業に取り組んでおり、令和18年度までに全17巻を刊行する計画となっております。 今回の市史編さん事業は、資料の調査・研究の成果である「史資料編」を基に、「通史編」をまとめる本市では初めての取り組みとなります。 【概要】：近世は、1587年から1871年（明治4）の廃藩置県までを取り上げる。 天正15年（1587）の豊臣秀吉の九州国割による延岡藩の成立から、元禄4年（1691）に延岡城主・有馬清純が国替えとなる、約100年間の歴史資料を収録。 ⇒『宮崎県史』に未収録の資料を中心とし、高橋元種の改易*や有馬氏の天草・島原一揆での活躍等に焦点を当てる。 *大名の身分と領地をはく奪されること 【収録した歴史資料】約60文書群、約280点 ・光勝寺文書（延岡市 光勝寺所蔵）30点 この点数の翻刻を紹介するのは初。 ・「吉用隼之允覚書」 立花家文書（福岡県柳川市 立花家史料館所蔵） 高橋氏改易の顛末を記録したもので、水間勘兵衛隠匿説が有力となる資料。 ・丸岡有馬文書（青梅市吉川英治記念館所蔵）18点：全18点の翻刻紹介は初 「宮本武蔵（玄信）書状」が含まれている 書状が書かれた日は不明だが、「即刻」とあり、天草・島原一揆の最中、武蔵が投石に当たりすねを負傷した旨が記されている、一揆の戦闘の生々しさを物語る。 ・白道寺文書（福井県坂井市 白道寺所蔵）4点：行政機関による翻刻紹介は初 有馬直純の菩提寺として、慶長18年（1613）島原に建立した。 現在の三福寺の地にあった浄土宗寺院。有馬氏の領地替えに随行し移転した。 【書籍の規格】 名 称：『延岡市史 史資料編 近世1』 サ イ ズ：B5版、モノクロ（口絵・カラー）、約780ページ 頒布金額：5,000円（税込） 頒布方法：<u>令和8年10月より市役所南別館にて販売予定</u> ※令和9年3月末には、西南戦争に関する歴史資料をまとめた『延岡市史 史資料編 近現代1』を刊行する予定です。
担 当 課	延岡市教育委員会 文化財・市史編さん課市史編さん係 TEL 0982-22-7047